

# 政策を提言する。実現する。迅速な決断、新しい着想。そして新時代へ。

## 1 進む防潮堤の整備 津波被害ゼロを目指して

駿河区静岡海岸の沿岸部で進められている防潮堤の整備事業。高さ8・5m、延長7・9kmで、安倍川が駿河湾に注ぐ中島地区から久能根古屋まで、想定される東海地震等による津波の住宅街への浸水を防ぐことが狙いだ。工事着工から既に3年。平成30年3月末現在で、投資額は約6・2億円。最西端から600メートル地点までの工事が完了、30年度は中島地区に隣接する西島地区が工区となる。東日本大震災の発生から7年。県下沿岸部で様々な対策が進むが、静岡海岸ではレベル2（津波高を押し上げる全ての要因が同時に発生した場合の津波高、確率は千年に一度程度と想定）へのハード対策は今のところ



■静岡海岸中島地区の防潮堤

実施の予定はない。レベル1に、対応した防潮堤で防ぐと同時に、地震発生時には高台への避難が必要だ。私も繰り返し述べてきたが、地域では、住民自身が自らの避難ルートに壊れやすい建物は避け、避難に要する時間ほどの程度なのか、避難訓練等を通じて定期的な確認をお願いしたい。

## 3 集中豪雨から宅地を守る 充分な河川費を確保する

県議に初当選して最初に着手した私の仕事は河川管理。地元丸子川の浸水対策は、市議時代からの課題。急な勾配は河床を掘り下げ、曲線箇所は擁壁を削り取る。元々自然に発生した河川は、放っておくと草木が生い茂り、必要な河川流量を阻害する。定期的な地元や土木事務所の方々と丸子川、小坂川の現場を確認する。今では、概ね必要な年間予算額も安定し、河川掘削も計画的に進むようになってきた。大規模な工事費を要する箇所も県下にはまだまだたくさんあり、地元からの要望箇所も残

## 成長する街であり続ける。 伸びる仕事、高い教育力、生活空間の安全。 人が集まる街には条件がある。

大谷田んぼ125ha。先年して恩田原・片山地区で37haの企業立地へ向けた区画整理事業がいよいよ始まる。今年2月、事業者の選定が行われ、やがてここには企業集積が進むことになる。静岡県全域の企業立地件数は全国第一位を継続しているが、静岡市の実績は低い。人口減少社会の企業誘致の目的は、既に雇用の確保ではない。本来企業誘致は、地元中小企業の取引拡大のために行われなくてはならない。成長する産業群を見定め、何が何より大事であり、リーディング産業の勢いを地元企業の開発技術の伸長に繋げることが、結果的に定住人口を増やす。



■今秋完成予定の日本平山頂展望施設

静岡市は、政令市実現当時、市内には、静岡、清水、東静岡の3つの拠点があると明示した。この3つの核が、それぞれ同じような拠点形成をすれば、あの合併は失敗に終わる。何故なら20万人規模の都市を3つ作るだけだからだ。進化は分業にある。東静岡地区は草薺の教育施設集積を補完しながら、高い教育力を目指し、一線の研究人材と若者の集積に集中すべきだと私は信じており、展示施設の完成が今秋に迫った日本平山頂への賑わい創出とも連動して、若く

県政報告ラジオ  
静岡 AI PRESS  
76.9FM・Hi!  
毎月第1月曜午前10時。  
毎月一回の県政報告ラジオ。議会での議論の様子、新たな政策の決定過程をリアルタイムでお知らせします。是非、お聴きください!

今後の公務予定  
3/19 公立小学校卒業式  
3/20 公立中学校、小学校、県立大学卒業式  
3/24 国道150号線中島区高架開通式典、JR安倍川駅前広場完成式典  
4/06 公立小学校入学式  
5/18 県議会臨時本会議  
最後までお読みくださりありがとうございました。年度始めは、地域・団体の総会にお邪魔して、県政の動きをご紹介すると共に、県市行政へのご要望を承りたいと思います。皆さまからも本紙のご感想、行政へのご意見・要望をお寄せください。



相坂摂治事務所  
〒421-0115 静岡市駿河区みずほ3丁目3-50  
Tel&Fax. 054-258-4778  
E-mail. aisaka@ka.tnc.ne.jp  
県庁自民改革会議役員室  
〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6  
Tel. 054-221-2308 Fax. 054-221-3397  
本紙に関するお問合せ、県市行政へのご要望はこちらまで

# 静岡県議会議員 自民改革会議 政調会長 相坂せつじ

Vol. 5  
県政レポート AI PRESS

## 会派政調会長就任から一年 会派三役の重責を担う

### 1 会派執行部の 政策責任者として

昨年6月、県議会最大会派自民改革会議の政務調査会長に就任しました。経験の浅い若輩者ですが、間もなく任期一年が無事過ぎようとしています。駿河区の事務所へ活動する時間はほとんどなく、毎日県庁の会派役員室で過ごす日々を送っています。会派代表は中沢公彦県議（浜松市東区選出）、総務会長は和田篤夫県議（御殿場市・小山町選出）、この三人で会派三役を担っています。さて、政調会長には二つの職責があります。一つは、執行部の一人として代表を補佐し会派運営の実務にあたること、もう一つは、会派の政策責任者として全体の意見をまとめ、要望に基づいて予算を確保することです。



■2/26、本会議にて代表質問

### 2 新総合計画への提言 政調会長の仕事①

政調会長就任が内定した昨年3月、私たちは川勝県政に2・2点という厳しい評価を下しました。私が座長としてまとめた県政検証の結果は、想像以上に皆さんを驚かせたようです。私たちの狙いは、6月の知事選挙。私は、ここで明らかにした課題によって、政策論争を起し、たかっただけです。当時、この結果は何度もマスコミに取り上げられ、厳しい評

### 3 要望を予算に反映する 政調会長の仕事②

自民改革会議の政務調査会は、毎年夏頃から来年度の予算要望の準備に入ります。お盆が終わってから8月末まで、まず県下全市町の議員から要望聞き取りの会議を重ね、11月には、経済・厚生・農林水産の120団体から要望事項を聞き取り、12月半ばに「来年度予算への要望書」をまとめ、知事に提出します。今回は、全170項目の予算要望を列記、県財政局との交渉に臨みました。



■今夏の市議・町議要望聞き取り会議

地域からの要望では、河川の維持管理費、道路整備に必要な用地の買収予算や教育の質の向上から中小企業の競争力強化、専門職人材の確保、先端技術の活用等が寄せられました。予算折衝を経て、道路や河川等の維持・整備費として昨年度を10億円の超過、280億円が県単独自算上回る280億円が県計上され、中小企業の競争力強化では、生産性向上への助成額が倍増、待機児童解消へ21ヶ所の保育所整備と保育士のキャリアアップ制度の普及が示されました。

### 4 政務調査会を主宰する 政調会長の仕事③

自民改革会議に置かれていた政務調査会は、会長1名、副会長4名で構成しています。毎月定例で政策協議を行い、県政で懸案となっている事項について、会派全体での会議の前に、政策の方向性を検討しています。政調会での方針決定により、「東静岡地区への中央図書館の全面移転」を申し入れたら、9月補正予算での河川浚渫予算等13億円の要請を行うなど、県行政の政策決定にも大きな影響を与えています。



- 議員歴
- ・自民党静岡県連政調会長、青年局長、遊説部長、青年部長。
  - ・自民党静岡市静岡支部政調会長
  - ・県議会拉致問題の早期解決を図る議員連盟事務局長
  - ・自民党陸海空交流推進議員連盟幹事長
  - ・自民党看護を考える議員連盟事務局長
  - ・静岡市議会運営委員会委員長
  - ・静岡市総務委員会委員長

- 著書
- ・日本平DC構想（1997年共著）
  - ・青年は創り続ける（2017年共著）

- 略歴
- ・1973年生まれ、現在44歳。
  - ・市立長田南小、城山中学校、静岡県立静岡高校から明治大学法学部卒。
  - ・1999年、25歳最年少で静岡市議会議員初当選、3期10年を務める。
  - ・2011年、静岡県議会議員に初当選。現在2期目、連続トップ当選。

- その他
- ・北朝鮮による拉致被害者を救うブルーリボンの会静岡代表
  - ・静岡大学法科大学院支援協会常務理事
  - ・静岡県遺族会青年部会長 ほか
  - ・一般社団法人静岡青年会議所 2013年度副理事長
  - ・静岡ライオンズクラブ会員
  - ・長田地区活性化協議会会員